

総会特集



昭和五十四年六月二日、好晴に恵まれ快よい風薫る土曜日の午後東京麴町(国電四谷駅前)・主婦会館ホールで全国膠原病友の会第六回総会が開催された。

出席者は北は北海道から西は岡山県に亘る会員・家族一二〇名、来賓二名、顧問の先生方七名、本支部役員一二名で、会場大ホールは満員の熱気に溢れ、午後一時より三時間、総会、記念講演、医療相談と生活相談の順序に滞りなく進行し盛会であった。

第六回総会開催さる

SSKO

膠原

NO. 41

編集発行

全国膠原病友の会

158 東京都世田谷区瀬田5-24-19
〒 電話〇三―七〇〇―六〇八三

総会次第

- 一、開会(午後一時)
- 二、総会
 - (一) 運営委員代表挨拶
 - (二) 第五回総会以後の活動経過報告
 - (三) 昭和五十三年度収支決算報告と監査報告
 - (四) 昭和五十四年度活動方針
 - (五) 昭和五十四年度収支予算案
 - (六) 事務局報告
 - (七) 来賓と顧問の先生方の紹介
 - (八) 来賓祝辞と祝電披露
 - (九) 本部、支部役員紹介
 - (十) 要望事項決議
- (休憩)
- 三、記念講演
「最近の膠原病治療」
順天堂大学教授 塩川優一先生
(休憩)
- 四、医療相談・生活相談
- 五、閉会(午後四時)

当日御出席の顧問の

先生方

(略敬称、順不同)

順天堂大学

塩川優一

同

橋本博史

国立病院医療センター

横張龍一

埼玉医科大学

鈴木輝彦

横浜市立大学

谷賢治

聖マリアンナ医科大学

水島裕

(以上の先生方に医療相談を担当していただいた)

東京都立墨東病院

高山敏雄

(生活相談を担当していただいた)

東京中央大通会

金井昭

(総会の司会をしていただいた、尚友の会の会計監査をお願いしている)

当日の来賓(略敬称)

全国患者団体連絡協議会

山本洋二

全国難病団体連絡協議会

小林孟史

当日出席の友の会役員

本部事務局長

寺山あみ

本部運営委員、埼玉県支部長

森田かよ子

同 東京支部長

富田保蔵

本部運営委員(会計)

同

松本貞子

同

河村真澄

同

加納道子

北海道支部長代理

若林利雄

群馬県支部長

長谷川道子

神奈川県副支部長

丸江正江

塩地一成



運営委員代表挨拶

富田保蔵

本日ここに皆さまの御協力により第六回全国膠原病友の会の総会を開催できるとなりました。御多用中を御出席下さいました友の会顧問の先生方、来賓の方々に厚く御礼申し上げます。又病を押して出席された多くの会員の方々有難うございました。

当友の会は昭和四十六年六月、同じ膠原病に苦しむ患者同志が互に励まし合って膠原病の知識を高め明るい療養生活を送ることを目的として発足してから早くも九年目に入りました。発足当時の会員は僅かに四〇名でしたが、年々増加し、五十三年度中の新入会員は一六六名を算え、今日では北は北海道から南は沖縄に亘り、九支部を持ち、会員は約一〇〇〇名となっております。これは友の会が広く世間に知られつつあるものと御同慶に存じます。

この間、友の会顧問の先生方の絶大な御支援を得ましたことには言葉に尽くせぬ感謝の意を表したいと存じます。又会員の励ましに応え地道な努力を積み上げ友の会の今日を作り上げられた先輩役員の方々に深甚た敬意を表したいと存じます。

昭和四十七年度にスタートしました国の特定疾患対策、調査研究は今日も継続しており、膠原病の治療も著しく進歩致しました。膠原病患者に対する医療福祉も次第に拡大し、シェーグレン症候群を除く疾患は総て治療費が公費負担となっており、又地方自治体の難病手当の支給も拡大されつつあり、友の会処期の目標が次第に達成されていることは誠に有難いことです。しかし膠原病が難病でなくなる日のためにはまだまだ会員一同不断の努力を続けねばならぬと存じます。

一方四八年の石油ショック以降の長い不況進行するインフレによって今日私共をとりまく社会情勢は急速に厳しさを加えており、今まで築きあげられた医療福祉、社会福祉の見直し論が行なわれ、現在開会中の国会において健康保険法の後退を目ざす改正案が継続審議されようとしております。之に対し、昨年四月の全国患者家族集会の国会請願に続き、本年も当友の会々員皆さんの御協力を得まして、去る五月十日と五月三十一日の二回に亘って三十二団体一〇一二四〇人の署名による請願が行なわれました。

斯様な状況のもとでは全会員の意志の結集こそが今日最も大切であると存じます。

当友の会は昨年十二月全国難病団体連絡協議会（全難連）に再加盟しましたが、既に参加している全国患者家族集実行委員会、障

害年金改正をすすめる会などの全国的団体との連帯を深め、対外活動を強化しようとしております。会員皆さんの更に強力な御支援をお願いする次第です。

本日の総会は半年がかりでやっと獲得しましたこの会場ホールの使用時間の制約がありますので、総会行事は配布資料によって手早く進行し、順天堂大学塩川先生の「最近の膠原病治療」の御講演とこれに続く医療相談、生活相談に出来るだけの時間を振向けたいと存じますので御諒解下さい。

総会が有意義に終わりますよう御協力をお願いして御挨拶と致します。

祝 辞



全国患者団体連絡協議会

山本洋二

ご紹介をいただきました全国患者団体連絡協議会の山本洋二です。私は障害年金改正を進

める会の仕事の方もやって居りますので二つの立場で第六回総会の御祝辞を申し上げます。去年ですか全国患者集会がございました大変日本の患者運動としては新しい一ページと言いますか大きなエネルギーが発揮されたわけ最近の状況を見ますと非常にいいと思っ

あるいは生活の保証についても大変大きな転換期を迎えているのではないかと、というふうに私ども考えて居ります、と言いますのは日本の経済が高度成長から低成長に変わったと言うことがございまして国ならびに地方自治体それぞれ財政についても従来どおり教育とか福祉とそう言ったものを充分にこころ進めて行く事が出来ないと言いう状況が生れてくる、したがって福祉についても医療についても見直しをすると言うのが本年度で四年目になって居ります。来年度は五年目になる此の四年間福祉関係、国ならびに地方自治体でじょじょに切り下げをされている。で医療の問題についてももう少し例えば昭和四七年八年位です、ね難病対策ももう少し進むのではないかと、言う大きな期待をもたしたと思つて居りました。なかなか進まないと言うのが現状であろうと思つて居ります。医療の研究にたずさわる先生方の大変な努力はございますけれども、まだまだその期待にそうと言ふふうな状態に無いのではないかと、又一方健康保険の問題それから公費医療の負担制度の問題その見直しが丁度今年であると思ひます。健康保険は今の国会で議論されて居ります。どうもまあ本国会では通過しないのではないかと、いうまあ私共の運動のセンターとしては考えて居りますけれども公費医療は現在医療行政管理庁の方で四月以来四ヶ月に渡つて全国各県で公費負担医

療制度の実体調査と言いますか観察が行われています。これは公費医療を国の予算或いは国の国庫負担と言う型で支給をし実証されている制度そのものを全面的に見直しをすると言う実体調査なんで、これも厚生省の計画であります健康保険の改正につづいて国民健康保険あるいは公費負担制度の全面的な見直し案を作成中でありますけれどそれが実体として表に出てくる可能性と言うのは非常に強いので今でもなかなかとくに長期の難治性難病の皆さん方難治性の患者さん達は永い間療養生活で病気を治さなければなりません。その間の医療費もさることながら家族をかかえての生活、そういうものが大変ではないか、で、もう少しやはり年を取った場合あるいは病気になる場合、あるいは子供が生れるさいにですね国ならびに地方自治体の大きなやはり援助と言うものが必要ではないか、と言ふふうに思っています。私達患者の団体として充分頑張って行きたいと思えます。皆さん方仲良く今後とも一緒に頑張りたいと思えます。大変まとまりのないごあいさつになりました。

祝電

一、衆議院議員 寺前 巖氏

ソウカイノセイコウライノリマスレイリヨ
ウフクシノコウタイヲユルサズトモニガ
ンバリマシヨウシユウギンギンレテ
ラマエイワオ

二、東京都衛生局長

ダイ六カイソウカイラムカエルニアタリ
カイインミナサマガタノヒゴロノゴドリヨ
クニケイイヲヒヨウシマスレトモニミナ
サマガタノゴケンコウトゴタクウヲオイノ
リイタシマスレトウキヨウトエイセイキヨ
クチヨウレイナダアキオ

三、全国腎臓病患者連絡協議会

ダイ六カイソウカイノカイサイヲオヨロコ
ビイタシマスレナンビヨウタイサクノスイ
シンノタメトモニウンドウラススメマシヨ
ウレゼンジンキヨウ

四、東京難病団体連絡協議会

ダイ六カイソウカイオメデトウゴザイマス
レソウカイノセイコウトミナサマガタノゴ

ケンコウヲオイノリイタシマスレトウナン
レン

五、神奈川県難治性疾患団体連絡協議会

ダイ六カイソウカイヲココロカヲオヨロコ
ビモウシアゲマスレキカイノヒゴロノゴカ
ツヤクニケイイヲヒヨウシレコンゴマス
スゴハツテンヲオイノリモウシアゲマスレ
カナガワケンナンレン

第五回総会后

昭和五十三年度運営報告

昭和52年10月30日より昭和54年3月迄の運営報告をいたします。

(1) 医療・福祉相談について

● 総会時に専門の先生による相談会を行いました。各支部においても年一回ないし二回行っています。

● 事務局において電話・文書等の相談を運営委員会にはかりお答えしています。運営委員会について

● 毎月第二木曜日に開催し、諸問題を討議しています。

(3) 広報活動について

● 「膠原」の発行(№34号、№40号)
● 膠原病診療手帳の配布

昭和53年度収支決算報告

(歳入の部)

項目	予算額	決算額	付記
1 前年繰越金	304,857	304,857	
2 会費	2,000,000	1,798,790	(166名新入会する)
3 賛助会費		180,000	
4 寄附金	500,000	327,540	(患者集会分75,000)
5 販売取入	400,000	143,700	膠原病はなし、ホームドクター他
6 (チャリテ-分)		385,206	チャリテ-バザー
7 利息	5,000	23,637	
合計	3,209,857	3,163,730	

(歳出の部)

1 支出助成金	500,000	609,000	
2 総会費	300,000	342,642	
3 会議費	40,000	23,460	役員会のための費用
4 印刷費	1,000,000	523,600	「膠原」診療手帳その他
5 通信費	300,000	278,909	郵送料、電話代
6 事務消耗費	35,000	36,025	文具代、コピー代
7 事務局費	240,000	240,000	家賃、光熱費含
8 書籍物品仕入	125,000	78,000	膠原はなし72,500 ホームドクター4,500
9 活動費	400,000	358,700	役員行動のための費用
10 分担金	30,000	34,000	チャリテ-協2万、全難連9,200 第3種4,800
11 渉外費	30,000	20,870	協力関係者と連絡のための費用
12 資料費	50,000	31,270	参考図書
13 雑費	19,857	167,800	チャリテ-協賛費その他
14 什器費	70,000	62,700	タイプライター6万 電動エンピツ削り2,700
15 予備費	70,000		
合計	3,209,857	2,806,976	

次年度に繰越金として 356,754

監査の結果上記の通り相違ないことを認めます。

会計監査 金井 昭 印

昭和54年5月25日

- (4) 会員名簿の配布
- 行政機関に対する要請活動について
- 障害年金改正の運動をすすめています。
- 健康保険法の改正に関する国会請願署名運動を行ってきました。
- (5) 支部活動の推進をはかってきました。

- (6) 難病・障害・福祉団体・協力関係者と連絡協議して、活動をすすめてきました。
- (53年12月より全国難病体団連絡協議会に再加入をいたしました。)

昭和五十四年度運営計画

全国膠原病友の会は発足以来九年目を迎えることになりました。

顧問の先生方のご指導協力と、会員の努力として皆様方のご協力により本日第六回総会を開催する運びとなりました。

現在、私たち膠原病患者を含む各難病患者をとりまく社会は長期の不況・インフレの進行する中で、政府の健康保険法の改悪、医療福祉の切下企図などによりきわめてきびしい

ものとなりつつあります。

この情勢のもとで病気を治し、その進行を食い止めて安心して生きて行くために、会員相互の協力を従来以上に結集し、医療関係者患者団体と連けいを強め、医療福祉社会保障の後退をふせぐように歩調を強め今年も前進したいと思えます。

会の目的は本会は膠原病についての正しい

知識を高め、明るい療養生活を送ると共に会員相互の親睦をはかり、病気の原因究明と治療法の確立と社会対策を推進することでありませう。

- (1) 講演会を通じて膠原病の正しい知識を習得する。

(会員および一般社会に理解を深めて頂きます)

- (2) 医療・福祉相談について

・専門講師による相談会の開催を行います。

・事務局にて相談(電話・文書等)を受付運営委員会において研修討議し相談に応じます。

- (3) 運営委員会について

・毎月第二木曜日に定例会議を開催し、毎週火曜・金曜に事務局に役員参集のもとに事務の遂行を行います。

支部および会員相互の情報交換を基に

事務局報告

今日は皆様お出にくい処を、お集り下さいまして本当に有難うございます。いつも沢山の方々からお手紙を載せて居りますすがなかなか思う様にお一人お一人にお返

昭和54年度収支予算

(歳入の部)

項 目	前年度予算額	今年度予算額	付 記
1 前年繰越金	304,857	356,754	
2 会 費	2,000,000	1,800,000	
3 賛助会費		200,000	
4 寄 附 金	500,000	500,000	
5 販売収入	400,000	200,000	
6 利 息	5,000	15,000	
合 計	3,209,857	3,071,754	

(歳出の部)

項 目	前年度予算額	今年度予算額	付 記
1 支部助成金	500,000	620,000	9 支部
2 総 会 費	300,000	300,000	
3 会 議 費	400,000	300,000	1,000×30回
4 印 刷 費	1,000,000	800,000	「膠 原」
5 通 信 費	300,000	300,000	郵送料, 電話代
6 事務消費費	35,000	35,000	文具費, コピー代
7 事務局費	240,000	240,000	20,000×12ヶ月
8 書籍物品仕入	125,000	80,000	
9 活 動 費	400,000	400,000	
10 分 担 金	30,000	35,000	
11 渉 外 費	30,000	35,000	
12 資 料 費	50,000	50,000	参考図書他
13 雑 費	19,857	26,754	
14 什 器 費	70,000	50,000	
15 予 備 費	70,000	70,000	
合 計	3,209,857	3,071,754	

(4) 会の運営を行います。
必要に応じて関係機関への陳情活動・
会員の実態調査を行います。
広報活動について
● 「膠原」の発行(年間六回の予定)
● その他必要資料の配布

事を差上げられず大変申し訳なく思っております。
☆ 会員の状況をお知らせ致します。
五月末現在の総会員数は一〇二七名になりました。其のうち患者数は九九九名です。男性患者は七三名であとは女性です。病名別、年令別に分けて見ますと次の表の様になりました。

(5) 支部活動の推進をはかります。
(6) 友の会の財政と事務局体勢の強化をはかります。
(7) 難病・障害・福祉団体・協力関係者と連絡協議し、共に活動を行います。

◎54年5月末現在の病名別と年令別会員数

年 令	SLE	強皮症	筋 炎	動脈周囲炎	シェーグレン	リウマチ	その他	合 計
10才未満	3	0	5	0	0	0	0	8
10才代	30	4	4	0	1	3	6	48
20才代	185	6	5	1	0	1	6	204
30才代	206	32	14	5	8	0	24	289
40才代	130	41	24	7	4	8	19	233
50才代	52	45	23	6	7	8	6	147
60才代	12	6	1	0	5	6	3	33
70才代	3	1	1	0	0	1	1	7
年令不明	10	3	3	1	0	0	13	30
合 計	631	138	80	20	25	27	78	999
患者外 ※								28
総会員数								1027名

(合併症が目立つ)

- | | | |
|--------------|-------------|--------------|
| シェーグレンと筋炎 | 1. 皮フ筋炎と強皮症 | 10. リウマチと強皮症 |
| シェーグレンと動脈周囲炎 | 1. SLEと強皮症 | 2. リウマチと筋炎 |
| シェーグレンとSLE | 5. SLEと筋炎 | 1. |

☆ 次にお手元の資料の間に「膠原病患者に御理解と御協力を」と言い水色のパンフレットを入れておきました。これはもし皆様のお知合の方で此の友の会の賛助会員になって下さるお気持の方が有りましたら、どうぞ此のパンフレットを差上げて載きたいと思つて居ります。よろしくお願い致します。

☆ 次に書籍の御案内を申し上げます。

膠原病のはなしの本と特集二号は本日受付で販売致して居ります。

ホームドクター五十二年三月号は出版社の方で品切れとなりましたので今後取扱を中止致します。

膠原病手帳は印刷所の手違いでまだ出来ません。新入会員の方々には出来次第すぐにお送りしますのでしばらくお待ち下さい。

☆ 毎月第二木曜日運営委員会（順天堂分室）

そして毎週火曜日と金曜日には役員が事務局につめておりますのでどうぞおでかけ下さい。いろいろな御意見をおきかせ載ければ又皆で考えて参りたく、お待ちして居ります。

☆ 本日はボランティアとして関東中央病院附属看護大学の学生さん三名がお手伝い下さって居られます。御協力有難うございます。（寺山事務局長の報告）

活動日誌

S 52

10・30 第五回総会開催さる（東京都障害者福祉会館にて）

11・4 総会の諸整理作業を事務局にて。（寺山、森田、倉田、松本、河村、若林、富田）

11・10 定例運営委員会。順天堂にて。（富田、森田、倉田、寺山、松本、河村、若林）

11・15 総会協力者、諸先生へのごあいさつ訪問する。（富田、森田、倉田、寺山）

11・18 全国患者集会の幹事会に参加。（富田、森田、倉田、寺山）

11・24 膠原病34号の編集会議を事務局にて。（富田、森田、倉田、寺山）

11・25 日本チャリティー協会打合せ（寺山）

12・1 日本チャリティー協会バザー説明会（寺山）

12・2 T O C にてバザー参加。（寺山、倉田）

12・2 膠原病34号原稿依頼（塩川先生、西来先生）（富田）

12・3 吉祥寺エコービルのバザー説明会（寺山）

12・6 会計事務（倉田、寺山、松本）

12・8 運営委員会。順天堂大学にて。（富田、森田、倉田、寺山、河村、若林）

12・9 会員名簿の発送作業事務局にて。（森田、倉田、寺山、松本）

12・14 膠原病34号の校正事務局にて。（富田、森田、倉田、寺山）

12・16 チャリティーバザー吉祥寺。（倉田、寺山、松本）

12・17 “ “ （森田、倉田、寺山）

12・18 “ “ （倉田、寺山）

12・20 膠原病34号の発送。（富田、森田、倉田、寺山、河村）

S 53

1・5 朝日ホームドクターの原稿会議。東京都障害者福祉会館にて。（富田、森田、倉田、寺山）

1・9 朝日ホームドクター社に原稿を提出する（富田、森田）

1・12 新年役員会。大同飯店にて。（富田、森田、倉田、寺山、河村）

1・20 膠原病35号の編集会議事務局にて。（富田、森田、倉田、寺山）

1・22 障害年金改正の会（森田、倉田）

1・27 会計事務。事務局にて。（倉田、寺山、松本）

1・30 日本チャリティー協会会議（厚生年金会館）（寺山、倉田）

1・31 膠原病35号の編集会議（富田、森田、倉田、寺山）

2・4 全国集會幹事会（東京にて）（富田、森田、倉田、寺山、松本、河村。）

2・13 膠原35号校正(富田、森田、倉田、寺山)	6・2 会計事務(富田、倉田、寺山、松本)	10・3 編集会議(富田、森田、寺山、河村)
2・14 厚生省、参議員訪問(富田、森田、倉田、寺山、河村)	6・3 膠原36号発送(倉田、森田、寺山、河村、教会四名)	10・12 運営委員会順天堂(富田、森田、寺山、河村)(膠原38号校正も行う)
2・17 会計事務(倉田、寺山、松本)	6・6 会計事務(倉田、寺山、松本)	10・24 膠原38号の発送(富田、森田、寺山、松本、河村)
2・22 膠原35号発送(富田、森田、倉田、寺山、河村、教会より六名協力)	6・8 運営委員会順天堂にて(富田、倉田、森田、松本、河村、若林)	11・4 バザー(教会、瀬田)に参加(森田、寺山、河村)
3・9 運営委員会(順天堂にて)(富田、森田、倉田、寺山、松本、河村、若林)	6・16 会計監査会金井昭氏を訪問し行う(富田、倉田、松本)	11・9 運営委員会順天堂にて(富田、森田、寺山、河村、若林)
4・2 全国患者集合に参加(富田、森田、寺山、松本、加納、河村、若林)その他会員二〇名	6・19 日本チャリティー協会会議(寺山、倉田)	11・11 埼玉支部総会に寺山事務局長参加
4・3 国会請願に参加(寺山、森田)	6・20 膠原37号編集会議(富田、倉田、寺山、森田)	11・12 神奈川支部総会に〃〃
4・11 会計事務(倉田、寺山、松本、加納)	6・29 チャリティーバザー出品物の値札付作業(倉田、森田、寺山)	11・13 会計事務(富田、森田、寺山)
4・13 運営委員会(順天堂)(倉田、森田、寺山、松本、河村、若林)	6・30 TOCバザーに参加(倉田、森田、寺山、河村)	11・14 会計事務(森田、寺山、松本)
4・21 会計事務(倉田、寺山、松本)	7・1 〃〃(森田、寺山、河村)	11・16 新人を迎えて会計カードの整理を行う(富田、森田、寺山、河村、鹿島、清水、堤、松村、高岩)
4・28 役員会事務局にて(富田、倉田、森田、寺山)	7・2 〃〃(森田、寺山、河村、松本)	11・28 会計カードの作成(富田、寺山、松本、豊田、松村、高岩、鹿島、堤、清水)
5・2 会計事務(倉田、寺山、松本、加納)	7・4 膠原37号編集会議(富田、森田、寺山)	12・1 チャリティーバザーTOCに参加(森田、河村)
5・9 会計事務(倉田、寺山、松本、加納)	7・10 〃〃(森田、寺山)	12・7 日本チャリティー協会会議(寺山)
5・10 膠原編集会議36号(富田、倉田、森田、寺山)	7・18 膠原37号の校正(富田、森田、寺山)	12・8 事務局カード整理(富田、森田、寺山、堤、豊田、清水)
5・11 運営委員会順天堂にて(富田、倉田、森田、寺山、河村)	7・21 会計事務(寺山、松本)	12・14 運営委員会事務局にて(富田、森田、寺山、チャリティーバザー出立場設営(森田、寺山)
5・15 会計事務(倉田、寺山、加納)	7・27 膠原37号発送(富田、森田、寺山、教会五名)	12・15 浅草都立産業会館にてバザーに参加(森田、寺山、松本、八宗岡)
5・17 会計カード整理(倉田、寺山)	8・8 倉田運営委員を見舞う	12・16 チャリティーバザー(寺山)
5・18 編集会議(富田、倉田、森田、寺山、加納)	8・27 運営委員会事務局にて(富田、森田、寺山、河村、若林)	12・17 〃〃(森田、河村、八宗岡)
5・21 障害年金改正の会に参加(倉田、森田)	8・31 日本チャリティー協会会議(寺山、森田)	12・21 編集会議39号(富田、森田、寺山)
5・26 36号校正と会計事務(富田、倉田、森田、寺山、松本)	9・10 倉田様の告別式に役員全員参加	1・6 厚生省訪問54年度当初予算に関する陳情活動を他団体と行う(富田)
	9・14 運営委員会順天堂(富田、森田、寺山、松本、河村)	1・9 編集会議(富田、森田、寺山)
	9・20 膠原38号編集会議(富田、森田、寺山)	
	9・26 編集・会計会(富田、森田、寺山、松本、河村、河野)	



医療相談風景

1. 11 運営委員会順天堂にて (富田、森田、寺山)
1. 20 39号校正 (富田、寺山、河村)
1. 21 全難連会議 (富田)
1. 23 会計事務 (寺山、松本)
1. 28 「患者運動」出版記念会に参加 (富田)
1. 29 厚生省全難連と共に (富田)
1. 30 日本チャリティー協会会議 (富田)
1. 30 日本チャリティー協会会議 (富田)
1. 30 日本チャリティー協会会議 (富田)
2. 8 運営委員会順天堂にて (富田、森田、寺山、松本、河村、若林)
2. 20 役員会 (事務局にて) (富田、森田、寺山、松本)
2. 21 全難連会議 (富田)
2. 27 会計事務 (富田、森田、寺山、松本)
3. 8 運営委員会順天堂 (富田、森田、寺山、加納)
3. 14 事務局整理 (富田、寺山)

3. 15 事務国会署名用紙の会員送付事務 (森田、寺山、加納)
3. 16 会計事務 (森田、寺山、松本) (決算)
3. 20 会計事務整理作業 (森田、寺山、松本、加納)
3. 20 全難連会議 (富田)
3. 22 膠原病40号編集会 (富田、森田、寺山)
3. 29 編集・事務局国会署名返信の整理 (森田、寺山、加納)

私たちの要望事項

(昭和五十四年六月二日)

- 一、膠原病の原因究明と治療法の確立体勢の推進強化
- 一、膠原病の早期発見と早期治療
- 一、膠原病専門医の養成と適正配置
- 一、地域又はブロックに膠原病センターの設置
- 一、国立病院の膠原病棟 (病床) の拡充
- 一、膠原病治療費公費負担の対象疾患の拡大
- 一、膠原病患者手当の支給範囲の拡大と地域格差の是正
- 一、差額ベットの解消と通院費の補助
- 一、膠原病患者の障害認定基準の拡大

第六回総会において全員決議いたします。

全国膠原病友の会

講演

最近の膠原病治療



順天堂大学教授 塩川 優 一

膠原病の患者さんが本日非常にづらい御病気に耐えてお集りになって、非常に立派な総会が出来、又決議もされたと言う事で、お祝い申し上げます。特に寺山事務局長はじめ運営委員の方々にお礼申し上げます。

ただ、私何時も言うんですけど、こう言う会が有ると言うことは社会、あるいは国家あるいは我々医者が充分に其の任を果していないと言う事です。患者さんが会などしなくても安心して療養出来る日が一日も早く来ることを私達は切にお祈りします。又私達医者立場から言うと、膠原病の患者さん達が一人もいなくなる日が早く来ていただきたい。出来るだけ努力して行きたいと思っております。本日は膠原病の最近の進歩と言うことをふくめて、膠原病の治療についてお話ししようと思えます。お躰も大変だと思えますけれどもしばらくがまんしてきて載いて、なにかご参考にしていただけたら幸いです。

昨日まで第二三回日本リウマチ学会と言う

学会が行われていたわけです。リウマチ学会では膠原病の研究が大きな部分を占めていて、大体研究発表の1/3位は膠原病のことだったのです。そう言う事で、学会としても膠原病の研究を非常に活発に進めています。

毎年私は同じ話をするのですが、新しい方もおられるのもう一回昔のお話をします。九年前、河野さん、森田さん、其の他の方々の苦心でこの友の会が出来た当時は、膠原病は絶望的な病気だったと思います。膠原病になられた方は皆さん、何とかしてあと一年でも二年でも生きのびたいという切実な願いで一ぱいでした。勿論、今日でも膠原病はまだなかなかむづかしい病気ですけど、お集りになった皆さんのお顔には昔と違って明るさがみられます。これは九年の間に膠原病の治療が大きく進歩したためです。今後さらに患者さんたちがよりよい治療を受けられる様に、さらに病気が早く直るようにと、私達は願っているわけです。

昨日、私は外来日でしたが、二十四才の女性の方がお子さんをだいて来られたのです。此の方は十四才の時に全身性エリテマトーデスにかかって居られるのです。それで永いこと療養して居られました。非常に理解のある御主人を得られて去年の三月に結婚されました。そして六月に妊娠をされたと言うことで、私達の所に出産について相談に来られた

んです。此の時にはプレドニンを一日に10mgのんで居られました。私共の処では、理解のある御主人も居られるので、お子さんを作ったらいいだろうと言うことでいろいろ治療に努力しました。そうして七ヶ月の所で病院に入って載き、今年の二月、一ヶ月位早かったんですけれども二〇九〇瓦の立派な女子の赤ちゃんをお産みになられたのです。お産の時には何もなかったのですけれどもプレドニンを一日30mgにふやし、少しステロイドの注射を行いました。昨日外来へ丁度三ヶ月の赤ちゃんを連れて来られたのですけれど、お母さんも赤ちゃんも両方とも元気です。まるまるとした赤ちゃんをみて、本当にうれしいと思いました。こう言う事で、エリテマトーデスの患者さんも結婚して、赤ちゃんを作られる。

そして幸福な家庭生活を続けられるということ。そして、膠原病の治療が進歩した証拠で、私はしみじみと昔を思いかえして居ります。

膠原病は難病と言うことで、原因の分からないということが今までもっとも困った事だったのです。今でもまだ分らない事は分らないんですけども、最近、二つの新しい事実が注目されています。一つは、此の病気になった方は免疫の異常が有ると言う事です。免疫と言う働きは、外から来るいろんなわるい物を防いでいるわけです。このように身体を守ってくれる免疫の働きがまちがった方向に行

っている。これが原因なのです。ではどうしてこういう免疫の異常が起ってくるかと言うと、免疫の異常が起こり易い人がいる。まあ体質と言いますか、膠原病にかかり易い人がいると言うことです。それがどう言う人かと言うことが本当に分ると、そう言う方は今度ばかりに予防をするということになる。免疫の異常を来たさな様にと言う治療方法ができてくるわけです。実際今、膠原病の治療としては免疫療法と言うのが世界的に研究されているのです。

免疫療法とは何かと言いますと、今お話しした様な免疫の異常を元にもどすと言う治療法です。これが膠原病の一番よい治療法です。現在免疫療法で一番行はれているのは皆さんが知って居られる薬で、免疫抑制剤と言うのが有ります。これにはイムラン、エンドキサン等と言うお薬が有って、まちがった免疫をよくする免疫療法のおくすりなのです。ただ、これは作用が弱い上に御承知の方も多い様に非常に副作用が有るんですね。免疫抑制剤を使うと頭の毛がぬけるとか、血液に変化がくるとか、いろんな副作用が有ってなかなか使えないんです。免疫療法が膠原病にいいことは分っているんですけれども、今ある免疫抑制剤ではどうも不十分なんです。それでもっといいのがないかと研究されて、いくつか新しい薬が出て来ています。ただ薬と

言うのは皆さん御承知の様に、よさそうだから明日使おう、と言うふうにはいかないですね。やっぱり充分注意して使いたせんと副作用が起こる。膠原病に対して最近免疫療法が開発されていることは非常に明るいニュースだと思っています。

つぎに診断ですね。昔は膠原病で命を落とされる事が多かった。その理由のひとつは、早く病気が見つからなかったためですね。やっぱり病気と言うのは悪くなってからでは直らない。まして膠原病のような重い病気はあまり重い状態になってから、さあ治療してくれと言はれてもなかなか出来ない。所が最近診断の方法と言うのが非常に進歩して来たんですね。血液を採って検査すると膠原病と言う事がすぐに分かる。そして早く治療が行はれる様になったと思います。こういう様な事も大きな進歩だと思えます。これで全般的な事は終りにして、今度は一ツ一ツの病気の事をお話して見ようと思えます。

御報告の会員数ですと、友の会の会員一〇〇〇人の中では全身性エリテマトーデスの方が六〇〇人で一ばん多いようです。全身性エリテマトーデスはSLEと略語でいわれていますね。これは女性に多い病気で熱が出て来る。そして全身にいろんな症状が起ってくる。中でも特に外から目に付くのは、蝶型紅斑と言う名前が付いてますけれども顔に紅斑、

赤い斑点が出来てくる。しかし、エリテマトーデスは皮膚だけの病気でなくて全身の内臓の病気でですね。さっきお話しした免疫の異常でいろんな内臓がおかされてくるわけです。此の中で特に重要なのは腎臓ですね。腎臓の病変が進むと生命を失うことになるので、一番大事で、これに注意して治療するのです。

それからエリテマトーデスは皆さん御存知の様に、いろんな誘因、きっかけが有って起って来ますね。皆さんの中でも夏の強い日光に当って起ったと言う方が多いだろうと思えます。きのうの私の外来に、子供さんと、運動会へ行つて強い日光に当り顔が赤くなったのですが「ずい分日焼けが強いね」とほって置いた。半年位したらだんだん他の症状が出て来てついにエリテマトーデスになったと言う患者さんが来てました。その他におくすりの影響も有るんですね。

ペニシリンとか風邪薬とか、あゝいうものがきっかけになってエリテマトーデスになるという方もありますし、それから風邪をひいたあとでエリテマトーデスになったという人もいますね。だんだん研究が進められて来ています。

今、エリテマトーデスの方に特に注意したい事は、これも御承知の方も多いと思えますけど、非常に困る合併症が起こってくる事です。なにかというと、無菌性大腿骨頭壊死

という大腿骨の頭の所の骨がこわれてしまうという合併症です。エリテマトーデスの患者さんが急にももの付根が非常に痛くなって、びっこをひいて歩けなくなる。その結果今まで元気で歩いておられた患者さんが寝てしまわれるわけですね。そうするとだんだん身体が弱つてしまふ。これはエリテマトーデスで長くステロイドホルモンをのんでいる方に突然起こるのです。エリテマトーデスの患者さんは皆ステロイドホルモンをのんでいますからお医者さんに時々レントゲンをとって貰つて、そういう病状が始まっている様だったら早く治療していただきたいのです。

今までこういう事は少なかったのですが、最近だんだんエリテマトーデスの方が長生をされる様になって、長い間ステロイドをのんでいる、そのうちに大腿骨がこわれ症状が起こってくるわけです。特に御注意をお願いしたいと思えます。

エリテマトーデスの治療は第一にステロイドホルモンです。はじめの頃はステロイドホルモンとの副作用でなやんでいる患者さんがたくさん相談に来られました。今ではお医者さんもうまくなつたと云いますか、医学が進歩した為に、ステロイドホルモンの使い方も上手になつたのです。今は、昔の様にブレドニンで一日一〇mgものんでいるという患者さんがずい分減つたと思えます。その為にス

ステロイドのいろんな副作用が減って来たんですね。ただ、医療の普及してない所へ行きますと、まだステロイドホルモンを沢山使っていて、そして骨がもろくなり、ちょっとした事で骨折し、動けなくなった方を沢山みるのですね。皆さん方はお分りだと思えますけれどステロイドというのはただ沢山使えばいいというのではないんです。副作用を考えて、一番少なく、しかも有効な量を使わなければいけない。これは最近の研究ではよく分って来たのですけれども、エリテマトーデスではステロイド沢山いる患者さんと、あまりいない患者さんがあるわけですね。いる患者さんには沢山使わなければいけない。どうい患者さんがステロイド沢山いるかというと、まず脳神経の病変のある方です。脳に病変が来て、意識がなくなる、痙攣が起こる、あるいは神経の麻痺が起こる、こういった場合にはステロイドを大量に投与しないとよくならないし、時には命を落とすことになるのです。その次に、ではあまりステロイドを使わなくていいのはどういう人かといいますと、これは腎臓の変化のあまりない方、尿に蛋白があまり出ない人です。ステロイドが少しいい人に沢山使おうと今度は副作用が起こってしまうのです。

うことは、今の所腎臓のバイオプシー（生検）できめる。皆さんの中にこの検査をお受けになつた方が多いと思えますけれど、腎臓に針をさして組織をとってしらべる。その結果腎臓の症状の重い人には沢山使わなければいけない。軽い人にはあまり使わなくていいという事になるのです。これで分るように腎臓の生検は是非受けていたきたい検査ですね。そしてどういう量のステロイドをのむかを決め、病気の進行を止める事が今の治療法になっています。

それからステロイドについては、最近バルス療法というのが行われ出していますね。バルスと言うのは衝撃と言うことですが、これはステロイドを大量、静脈注射でやる方法です。その結果、エリテマトーデスがずっと良くなるという報告があるのです。ただこれは副作用も多く、今の処、どう言う患者さんにやったらよいか分っていません。現在非常に重症だと言う時に行われます。その内にもっと研究されると思います。

それから私の処で今、血漿交換療法と言うのをやっているんです。これはどう言うのかといいますと、人間の血液と言うのは血球と血漿と分れるんですね。エリテマトーデスの患者さんの血漿の中には腎臓とかいろいろな内臓を障害する、免疫複合体というものが入っているのです。そこで患者さんから血液を

採って、良い血漿を代りに入れると言う治療法なのです。今やって居りまして、確かに非常に良くなった患者さんもいるのです。まだ研究中ですが、エリテマトーデスの治療が進歩している証拠として、お話しするわけですが、さきほどお話ししたようにエリテマトーデスでも免疫療法の研究が進行中です。そのうちにいいお薬が出て来るだろうと思っているわけです。

その次に多いのは強皮症ですね。強皮症というのは皮膚が次第に硬くなってくると言う病気です。そして身体が不自由になってねた切りになってくるのです。これも非常にむずかしい。膠原病の中で強皮症はまだ一番分っていない病気だと思えます。しかしこんどの学会でもいろんな研究が発表されています。強皮症の人では異常な線維が沢山作られているのです。そういう原因が少しづつ分ってくるだけでもずいぶん大きな進歩だと思います。しかし今日ここでお話ししておきたいのは治療のことですね。あまりステロイドを使わない方がよいと去年なんかお話ししたと思えます。しかしどうも見ていると、ステロイドを少し使った方が強皮症にいいようです。勿論あまり沢山は飲まない方がよいです。少量はやっぱり使った方が皮膚の病変にはいいと思えます。つぎにDペニシリンがあります。これは強皮症の、とくに皮膚症状に有効です。広

く使われており、皆さんも飲んでいると思います。その他にユベラとか、いろんなビタミン類とかコルヒチンというお薬がいいという研究もありますし、強皮症に効くと言うお薬は沢山あるのです。ただ、これをやれば強皮症がすぐよくなるというのは残念ながらありません。ですから患者さんは医師に与えられお薬をのみながら、いろんな注意をしながら。まず強皮症の一番こわいことは血液の循環が悪くなるということです。血液の流れをよくするには、去年もお話ししたんですけども身体をよく動かす、特に手は強くにぎったり放したりし、たえず手をマッサージする、また手足を温かくし冷やさないようにする。強皮症もやっぱり全身の病気でとくに肺をおかされるのです。そこで強皮症の患者さんは時々深呼吸をして肺の空気を入れかえる、そうしないとだんだん、皮膚が硬くなると同じ様に肺の方にも変化が来て、息が苦しくなってくる。

強皮症の事でもう一つ、皮膚が硬くなり、血液の循環が悪くなるために、皮膚が弱くなって、すぐ化膿したりします。そこで皮膚をなるべく清潔にすることが必要です。もう一つ私の処ではよく強皮症の方は皮膚に潰瘍が出来てくるんです。これはなかなか治りにくい。これをしらべて見ると、よくハリ、灸をやった方があるんですね。ハリや灸のちよっとし

た小さい傷がだんだん広がって、治らなくなってしまう。ハリとか灸とかは膠原病の方に有効なことがあると思います。しかし、特に強皮症の方や、膠原病で皮膚の弱い方や、ステロイドを沢山飲んでる方は、ハリとか灸をやる時には十分注意して下さい。時にはちよっと虫にさされたところから潰瘍が出来て、いつ迄も治らない人があります。それから強皮症の方で、よく指先が黒くなって潰瘍が出来てくる。きいてみると神経質な人で、いつも爪を切るとき深爪をしてしまう。そういう処からだんだん潰瘍が出来る。なるべく傷を作らない様にすることが強皮症で非常に大切な事だと思っております。

強皮症でもう一つお話ししたいことがあります。ここにお集まりの方はご存じだと思いますけれども、レイノー症状というものがありますね。レイノー症状というのは、冷たい水に手を入れたり、冷たい風に当たったりすると手でも足でもまっ白に死んだ様になるのですね。レイノーはフランスのお医者さんの名前です。これは強皮症の方に一番多い症状ですが、エリテマトーデスにも、関節リウマチにも、この次お話をする皮膚筋炎の方にもありますね。このレイノー症状と云うのは、膠原病の非常に大事な症状で、膠原病になる前にレイノー症状が起こるといふ方もあります。私の処にも女の方でレイノー症状になって、

水仕事をする時に真白になる。それを続けているうちに十年位したらだんだん皮膚が硬くなって、とうとう強皮症になったという方があるんですね。すなわちレイノー症状がある方というのは膠原病になる可能性がある。勿論、レイノー症状があっても、知らないうちに膠原病になっている方もある。膠原病の症状としてレイノー症状というのは特に大事な症状だと思っております。

エリテマトーデスと強皮症のお話をしましたから、第三の病気は皮膚筋炎ですね。これは皮膚と筋肉がおかされる病気で、多くは筋肉の症状から先に起こります。どういふのかと云うと筋肉の力が無くなってくる。一番多いのはトイレ、とくに日本式のトイレでしゃがんだり立てなくなったりするような事で筋肉の力が無くなったという事で分るのです。そのうちに手がにぎれなくなり、手を挙げる事が出来なくなる。だんだん全身の筋肉の力が無くなってう。それから皮膚、特に顔に赤い斑点が出来てくる、また高い熱が出ることもある。この皮膚筋炎とエリテマトーデスというのは顔の斑点が非常に似てますからよくまちがえる。どこが違うかという点で皮膚筋炎の方は上まぶたが赤くなってはれてくる。エリテマトーデスはなかなか上まぶたが赤くならないんです。また皮膚筋炎では赤い斑点が少し紫色がかっていきますね。そうい

う様なことで、皮膚筋炎はエリテマトーデスと非常に似ていますけれども、筋肉の力が弱くなるという非常に困る病気なのです。昔は皮膚筋炎は命が危い病気だといわれていましたけれども、最近はやっぱりステロイドホルモンを使う、その結果昔の様に命を落とすとという事はなくなりました。皮膚筋炎も治療が非常に進歩しているということですから、一生けんめい療養していただきたいと思います。

その次の病気では結節性動脈周囲炎の方もいるという事です。これは非常に特殊な病気です。ここに居られる方がどう云う症状か分かりませんが、普通は非常に重い病気だと云われています。けれどもこれも最近ステロイドホルモンでかなり良くなってきた膠原病です。

それからあとにはシェーグレン病の方が居られる様ですね。シェーグレン病というのもこれは非常にむずかしい病気です。ご存じのない方があるといけないので、ちょっと一言申し上げます。慢性関節リウマチが多いと思えますけれども、皮膚筋炎とかエリテマトーデスなどの膠原病の方がかかります。そういう方が目が乾いて涙が出なくなる。患者さん絶えず目がちくちくしてまぶしい。つぎに、口の中は唾液が出なくなるんですね。御飯を食べようとすると、なかなか唾が出ないのでのみこめない。そういう目や口の粘膜が乾いて

困るという事があつたらシェーグレン病でないかと思つてお医者さんに調べてもらうといふと思います。原因は分つていません。治療もむずかしいんですね。治療は人工涙液というのがある時々目に入れる。それから口の方は水を飲みながら御飯を食べなければならぬ。非常につらい病気ですね。このシェーグレン病についても今厚生省の研究班がいろいろ研究しております。

最近皆さんの中にはエムシーディーティ（MCDT）という病気の診断を付けられた方がだんだん増えて来ていると思つています。これは混合性結合織病ということなんです。MCDTというのはどういう特徴があるかといひますと、エリテマトーデス、強皮症、皮膚筋炎の三つの膠原病のまじつた病気なんです。ですからエリテマトーデスの様な症状もあるし、強皮症の様な皮膚の症状もあるし皮膚筋炎の様な筋肉の病気もある、という風に三つが混じつている。いま血液をしらべるとわりに簡単に診断がつくようになっていふ。これはこの三つの膠原病よりちょっと軽症だといふ事がわかつています。またステロイドホルモンがよく効きます。そういう新しい膠原病があるということをお話ししました。こういうことで一通り膠原病のお話をしました。ところで、さきほどから来賓の方からもお話がありましたけれど、やはり国家も

社会も膠原病というむずかしい病気についてもっと関心を持って貰いたいということですから、その為に皆さんと一緒に努力してゆきたいと思ひます。

永い間御静聴どうも有難うございました。

「総会に参加して」

(東京) 中代 君子

第六回総会に出席させて頂きました。

塩川先生のお話、新しい治療法も研究されていますとのことでしたので、希望を持つとうと思ひました。

帰りがけに一諸にお茶を飲んだ方とお友だちになれました。

そして又、ああいう患者会のようなものにはボランティアの方たちのお力が大変に必要なのだということもわかりました。

若い女の方がお世話して下さいて感激いたしました。

地味な仕事をえらいなあと思ひました。

「第六回総会に出席して」

(秋田市) 内海 恵美子

総会当日は梅雨時にもかかわらず初夏を思わせる暑さでした。

仲間に会える!! 専門の先生方から直接アドバイスをいただける……と期待に胸をふくらませて会館のドアをくぐりました。

総会、講演に続いて行なわれた医療相談会では皆さんが常日頃もち続けてこられた疑問や質問が活潑に述べられて、それら一つ一つが大変参考になりました。

その中には病気が間違いだったり、薬の量が適当でなかったり、ある人は地方の人ですが専門のある大きな病院を紹介されたりで会に参加した効果は大きいと思います。

私も出しゃばる位、いろいろと質問させていただきました。

病気に負けることなく前向きに歩いている仲間にも勇気づけられ東京を後に致しました。

速方より参加された人には特別相談会を総会のあと一時位配慮していただきとてもうれしく思っております。

「総会に参加して」

(岐阜市) 真鍋 美知子

念願であった総会に始めて参加致しましたSLEと診断されてから今年で早や四年目を迎えます。

その間に三度の入院生活を繰り返す状態でしたが、今回、こうして岐阜から参加し得た事は、全く夢の様な出来事に思われます。

総会では仲々お目にかゝる事の出来ない権威ある先生方に気軽に御相談のっていただきおかげ様で、気持がすっきりと致しました。又、同じ様な病状で苦しむ皆様方が一生懸命頑張られている数多くの姿にも接する事が出来て大変勇気づけられました。

総会の運営に御尽力されました友の会の皆様のみならず御健康を心よりお祈り致します。

「はじめての総会参加に思う」

神奈川県 青戸 晴子

気候も暑くもなく寒くもない六月二日、晴れに恵まれ少し汗ばむ日でした。

再発に苦しみ、生死の境をさまよった四十五年、それからまもなくして入会した私ですが、今回やっと総会に足を運ぶことが出来ま

した。

去年まで山形で療養中でしたが、ふとしたことがきっかけでこちらに出て来ました。

そのうえこの難病をかかえた私を妻に迎えてくれた主人に逢えました。

頑張りました。無理はいけないと誰よりもわかっている自分でしたが、十一月に高熱、再発で急救車入院、暮に退院したものの正月四日に今度は国立相模原病院、それから永かったのです。

肉体的精神的にも参ってしまいました。五月十七日退院できました。

ベットの中で指おりかぞえた六月二日、この足でこの体が会場に行けるんだろうかと迷ったんですが、友の会の皆さんの顔と話にそして先生方に接することが出来ました。

本当によかったです。医療相談そして、生活相談、先生を囲んで一人一人悩みを病状を語り、くわしい指導を受けました。

もっともっと時間のほしい総会でした。

次回には今よりも元気になって必ず出席しようとうと会場を後にしました。

ご出席のみなさんは割と病状が落ち着いておられる方と存じます。

自宅で病院で体を休めていらっしゃるみなさん頑張ってください。

一日も早く自分の体を総会にお見せ下さい。同じ病気で悩んでいる私達です。

総会で何か必ず希望という明るい光をみつけることができます。

医学の進歩を信じて又、自分の回復力のすばらしいことも忘れないで下さい。

夕方の箱根行のバス混んでいるので

指定券取らなかつたので電車で小田原に出て主人に迎えに来てもらいました。

タクシー、食事と予定外の出費になりましたが私は幸者です。

友の会のみなさんに祝福して頂いた私です。主人と力を合せて病氣と闘いながら前むきに頑張ります。

この総会がこんなにすばらしい会で終わりましたのも先生方と役員のみなさまのおかげと存じます。

第六回総会は出席者多数のなりやまぬ拍手で閉会いたしました。

事務局だより

全国患者家族集會実行委員会の 国会請願署名募金について

会員皆さんの御協力を得ました健康保険法改正に対する国会請願署名は全国で一〇一、二四〇名に達しました。内全国膠原病友の会の本部扱（地域難連加盟の友の会支部分を除

く）は二、一七一名でした。
五月十日と五月三十一日の二回に亘って国会請願が行われ、これに友の会本部役員も参加しました。

健康保険法改正等は今国会でも審議未了で成立せず継続審議となりました。

友の会本部取扱の募金は現金八一、五五〇円、切手一一五、〇六〇円、合計一九六、六一〇円に達しましたが、実行委員会の申合せによって友の会本部会計に繰入れさせていただきました。

会費一ケ年、二、四〇〇円 です。

郵便局の振替用紙をお使いになる時は次の様にお書き下さい
口座番号 8-116096

加入者名 全国膠原病友の会

金額 2,400円

とお書き込み下さい。尚振込の場合はこちらから領収書を発行いたしませんので、お手元の振込票の控を大切に保存して下さい。

膠原病のはなし 順天堂大学塩川優一先生著
保険同人社発行

本代九八〇円
送料一四〇円

ホームドクター は品切れとなりました
五三年三月号 今後取扱を中止致します。

***** ***** ***** ***** ***** ***** ***** ***** *****

編集後記

●東京に「つゆ入り」が告げられたのは六月七日でしたが、雨らしい雨もふらぬ間に連日の猛暑となつてしまいました。
総会は快晴に恵まれて本当によかったと思います。

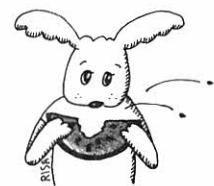
●総会が済んで皆でホットしたところです。参加されなかつた皆様に今回は「総会特集号」として報告いたします。

●今年の夏はきびしい暑さになりそうです。みな様健康に充分注意してお過ごし下さい。
●関病体験記・文芸作品（詩・短歌）・随筆その他ご意見等をお待ちしています。
●お寄せ頂きました原稿は編集の都合上、一部割愛する場合がございますので、あらかじめご了承下さいますようお願い致します。

編集委員

富田・寺山・森田

暑中御見舞申し上げます



昭和五十一年二月二十五日第三種郵便物認可（毎週二回・月曜・金曜発行）
昭和五十四年七月十六日 発行SSKKO 通巻三七〇号

発行人 身体障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区砧八一二十一―三
定価 八〇円